

【短報】ユミセスジホソカタムシの奈良県からの記録

ユミセスジホソカタムシ *Lasconotus sculpturatus* (Sharp, 1885) は G. Lewis の九州（熊本県大矢山）からの採集品によって D. Sharp によって 1885 年に記載された (Sharp, 1885). その後、奄美大島八津野 (青木, 2009a, b), 対馬竜良山 (青木, 2012), 屋久島上屋久町小瀬田林道および白谷雲水峡 (生川・細川, 2014) から見つかったのみである。このたびそれらから遠く離れた本州（奈良春日山）から多数採集されたので、標本と棲息環境の写真と共に新たな分布地として報告する。

1ex., 奈良県奈良公園春日山, 4. V. 2017, 伊藤建夫採集; 43exs., 同所, 3. VI. 2017, 伊藤建夫採集; 35exs., 同所, 1. VII. 2017, 伊藤建夫採集。



図1. 奈良県産ユミセスジホソカタムシの全形図 (1) と棲息環境 (2)。

本種の既産地と新産地の記録に意見をいただいた青木淳一博士に深謝する。

なお、これらの調査は奈良公園事務所からの学術調査入山許可のもとに行われたものである。

引用文献

- 青木淳一, 2009a. 図鑑に載っていない日本産ホソカタムシ. 神奈川虫報, (165): 1-15.
 青木淳一, 2009b. ホソカタムシの誘惑. 194 pp. 東海大学出版会.
 青木淳一, 2012. 日本産ホソカタムシ図説. 92 pp. 昆虫文献六本脚.
 生川展行・細川浩司, 2014. 興味深いヒラタムシ上科およびゴミムシダマシ上科の記録. さやばねニューシリーズ, (14): 22-25.
 Sharp, D., 1885. On the Colydiidae collected by Mr. G. Lewis in Japan. The Journal of the Linnaean Society of Zoology, 19: 58-84, pl. III.

(伊藤建夫 614-8371 八幡市男山雄徳 7, E12-102)

【短報】佐賀県で得られたヒメゾウムシ2種の記録

吉原 (2016) によると既産地の少ないヒメゾウムシ2種を佐賀県で得ているので記録したい。

1. カタボシヒメゾウムシ *Orchidophilus hisamatsui* (Kojima et Yoshihara)

1ex. (図1), 佐賀県太良町多良岳, 3. VI. 2017, 筆者採集。

この日は多良岳中腹の中山キャンプ場から山頂にかけて叩き網をして回ったが、採集したのは小さな個体でヒメゾウムシとの認識はなく、どの時点で採集したかの記憶がない。

吉原 (2016) によれば、愛媛県の1頭のみが知られる。

2. シロスジツヤヒメゾウムシ *Eumycterus laodioides* Nakane

1ex. (図2), 佐賀県鹿島市音成, 6. V. 2017, 筆者採集。

有明海沿岸の梅林の土手に生えた草本の穂に付いていた。同日と3日後に周辺を探したが再発見はできなかった。

吉原 (2016) によれば、九州本島の既産地は鹿児島県のみであった。



図1. カタボシヒメゾウムシ. 図2. シロスジツヤヒメゾウムシ.

引用文献

- 吉原一美, 2016. 日本の昆虫 Vol.6. ゾウムシ科, ヒメゾウムシ亜科, 171 pp., 権歌書房.

(西田光康 843-0301 嬉野市嬉野町下宿甲 1752-2)